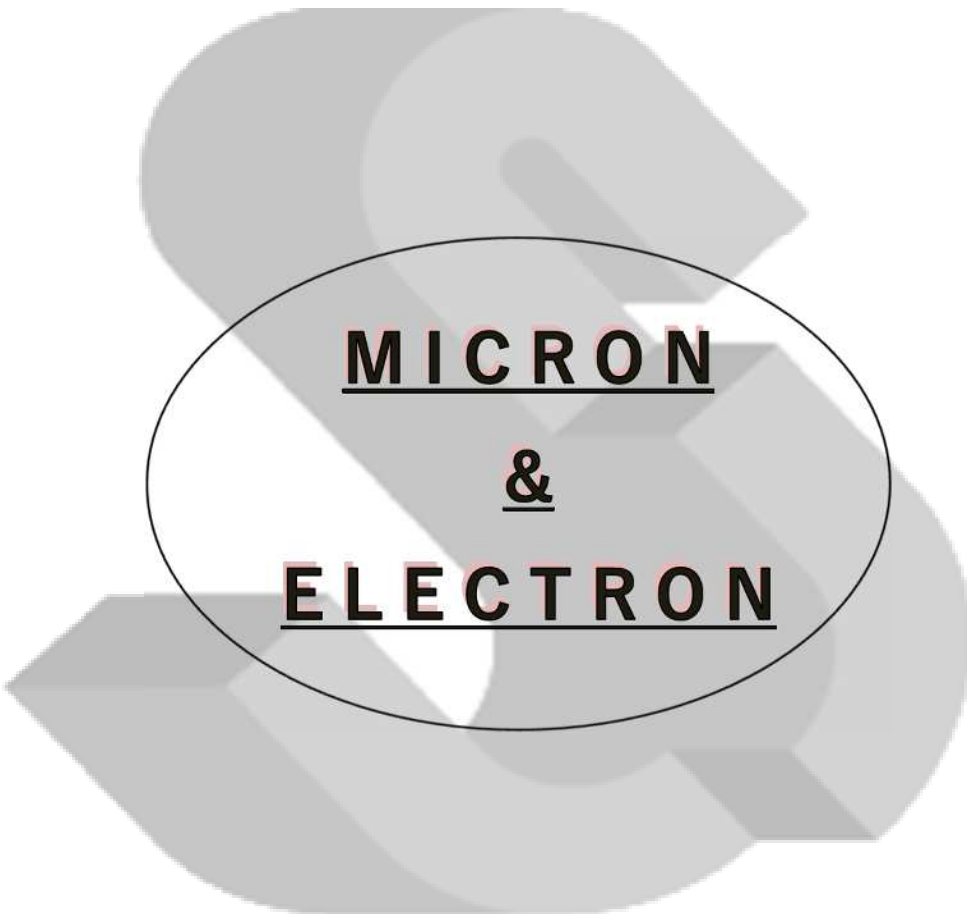

株式会社 鈴木

2024年6月期 第2四半期
決算説明資料

Feb. 19. 2024



MICRON
&
ELECTRON



SUZUKI CO.,LTD.

東証プライム code:6785

2024年6月期 第2四半期 業績説明

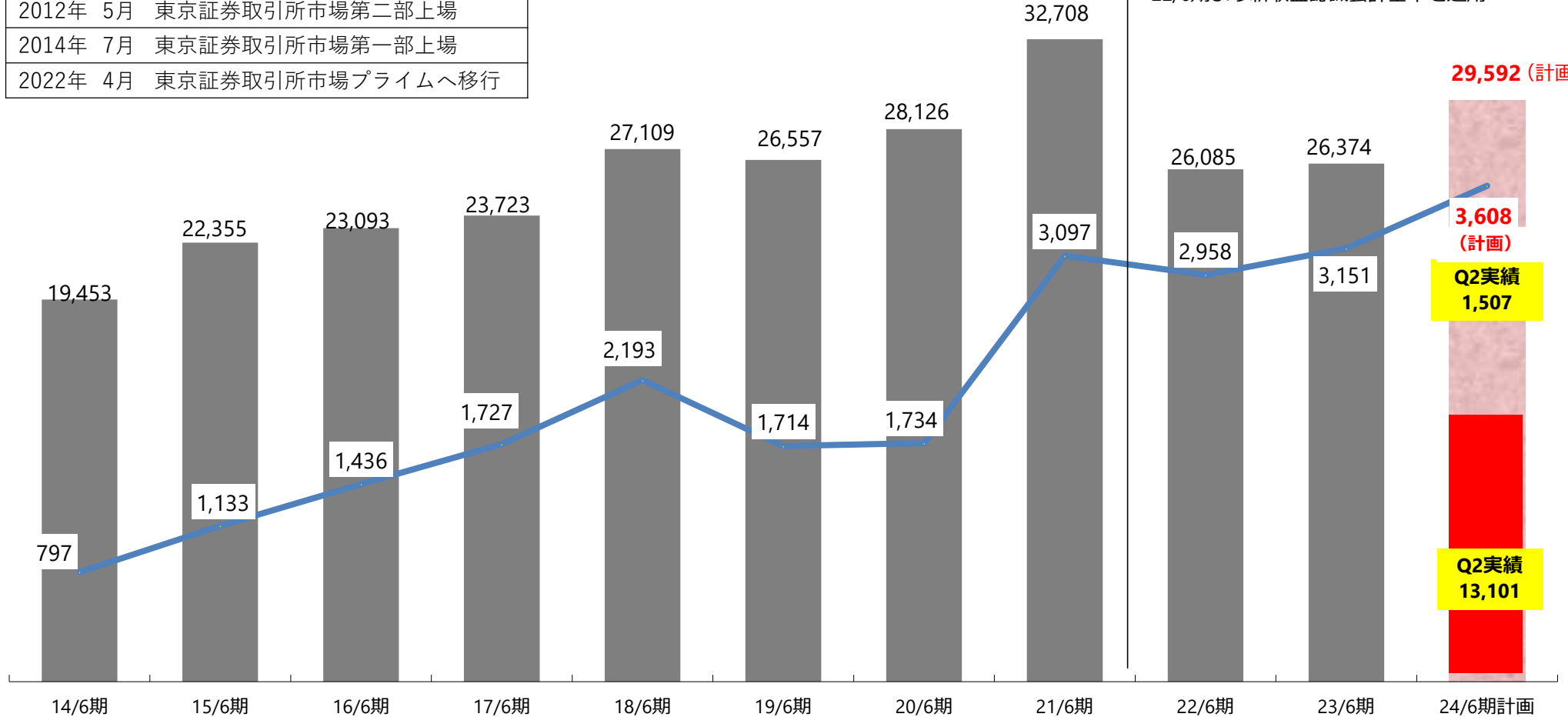
成長の軌跡

2

2001年 2月	株式店頭登録 (JASDAQ)
2012年 5月	東京証券取引所市場第二部上場
2014年 7月	東京証券取引所市場第一部上場
2022年 4月	東京証券取引所市場プライムへ移行

(単位：百万円)

22/6期より新収益認識会計基準を適用



※23年6月期より売上原価から控除しておりました有償受給取引における受給品に含まれる標準スクラップ価額を「売上高」に含めて表示しております。2022年6月期の「売上高」については、この表示方法を反映させた組替え後の数値で表示しております。



■ 売上高 — 営業利益

連結損益計算書（前年同期比）

3

- 2024年6月期第2四半期の営業利益は前期比で19.9%減少
- 金型セグメントでは社内生産用のスマートフォン向け関連部品の受注が増加したものの売上高は前年を下回りました。一方、生産効率化と高付加価値の金型製作により利益は前年を上回りました。
- 部品セグメントの自動車電装部品は順調に推移しましたが、産機向けや半導体関連向け電子部品の回復の遅れが影響しました。
- 機械器具セグメントの医療組立は計画通り推移したものの、自動車関連の自動機器の設備投資への受注が進まず利益に影響しました。

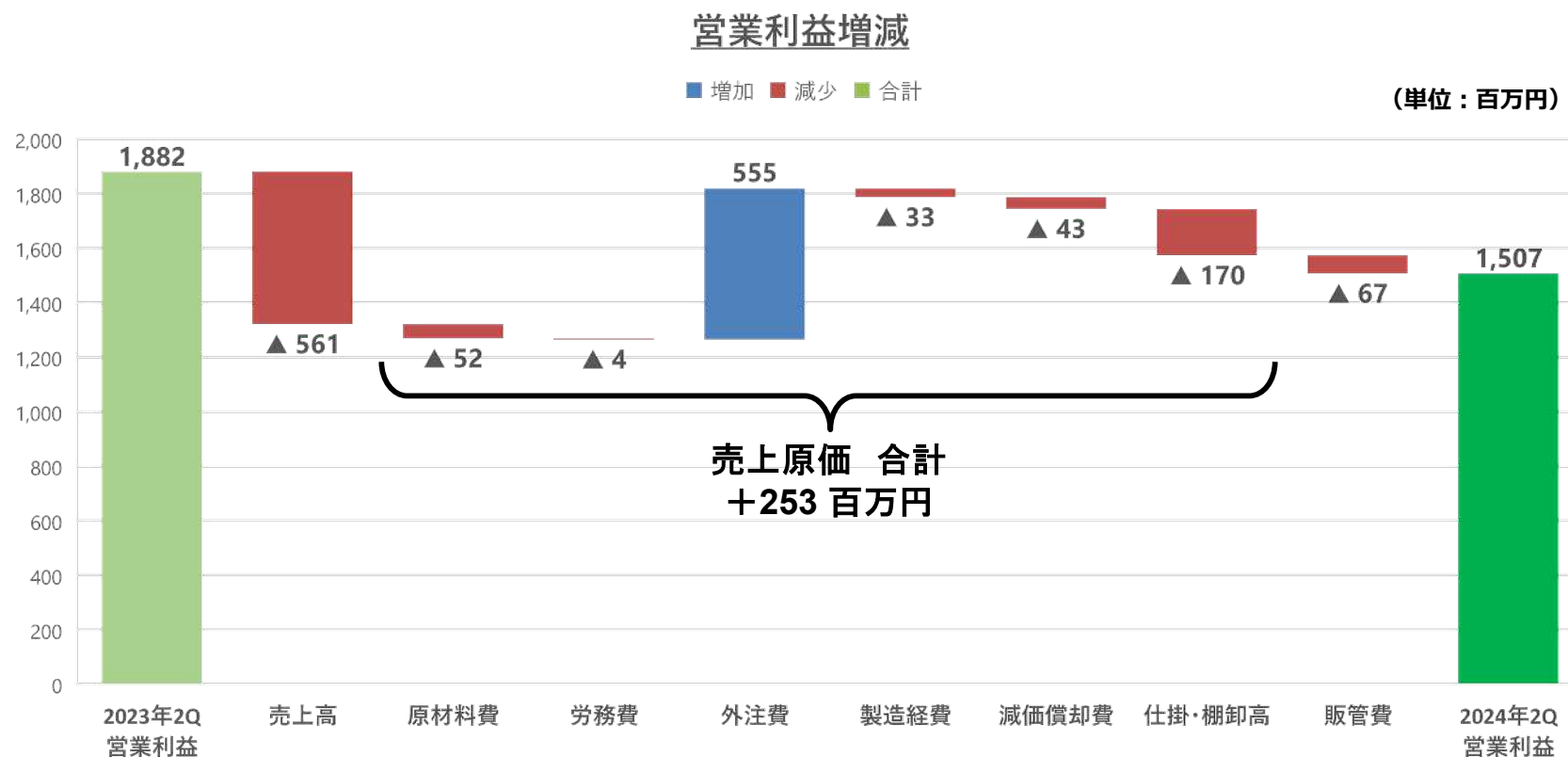
（単位：百万円）

	2023年6月期 第2四半期		2024年6月期 第2四半期		増減	
	金額	売上比%	金額	売上比%	金額	増減比%
売上高	13,662	-	13,101	-	△561	△4.1
売上総利益	2,965	21.7	2,656	20.3	△308	△10.4
営業利益	1,882	13.8	1,507	11.5	△375	△19.9
経常利益	2,035	14.9	1,669	12.7	△366	△18.0
親会社株主に帰属する当期 純利益	1,284	9.4	1,032	7.9	△252	△19.6

連結損益計算書（前年同期比/営業利益増減）

4

- 2024年6月期第2四半期の営業利益は前期比375百万円の減少となりました。
- 営業利益375百万円減少の内訳は、売上高561百万円の減少、外注費を含む売上原価合計253百万円の減少、販管費67百万円の増加により2024年第2四半期の営業利益は1,507百万円となりました。



連結事業別セグメント情報（期首計画比）

セグメント別 売上高 計画比較

（単位：百万円）

	2024年6月期 第2四半期 計画		2024年6月期 第2四半期 実績		増 減	
	金額	構成比%	金額	構成比%	金額	計画比%
■ 金型	764	5.5	619	4.7	△145	△19.0
■ 部品	10,178	73.3	9,761	74.5	△417	△4.1
■ 電子部品コネクタ	8,416	60.6	7,459	56.9	△957	△11.4
■ 自動車電装部品コネクタ	1,762	12.7	2,302	17.6	540	30.7
■ 機械器具	2,943	21.2	2,717	20.7	△226	△7.7
■ 賃貸	4	0.0	4	0.0	0	0.9
合計	13,889	100	13,101	100	△788	△5.7

セグメント利益 計画比較

（単位：百万円）

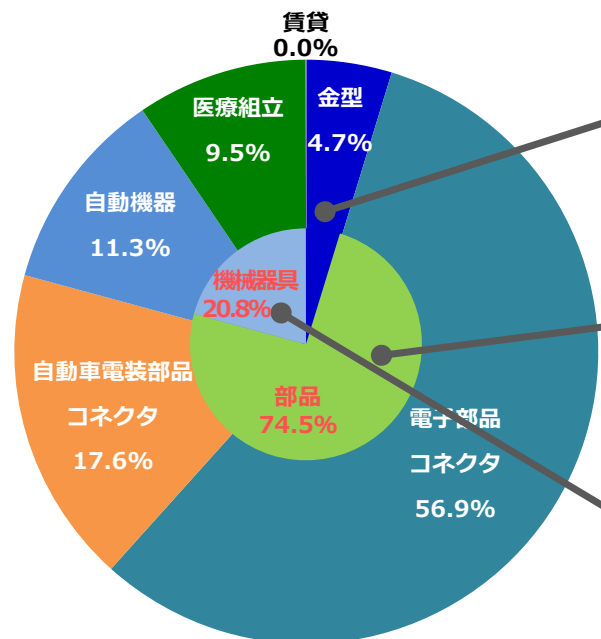
	2024年6月期 第2四半期 計画		2024年6月期 第2四半期 実績		増 減	
	金額	構成比%	金額	構成比%	金額	前期比%
■ 金型	190	8.8	219	10.0	28	14.8
■ 部品	1,679	78.0	1,615	73.9	△64	△3.8
■ 電子部品コネクタ	1,398	65.0	1,180	54.0	△218	△15.6
■ 自動車電装部品コネクタ	281	13.0	435	19.9	154	54.9
■ 機械器具	245	11.4	309	14.2	64	26.3
■ 賃貸	38	1.8	42	1.9	4	10.2
合計	2,152	100	2,185	100	32	1.5

セグメント利益については、セグメント間取引消去前の金額で記載しております。

連結事業別セグメント情報（前年同期比及び時系列売上高推移）

6

2024年6月期 第2四半期セグメント別売上高構成、前年同期比較



【金型セグメント】

- 電子機器向けは、社内生産用スマートフォン関連が増えたものの前年同期比で減収の一方、高付加価値化と生産効率化が奏功し増益。
売上高 619百万円、前年同期比15.1%減少
セグメント利益 218百万円、前年同期比19.6%増加

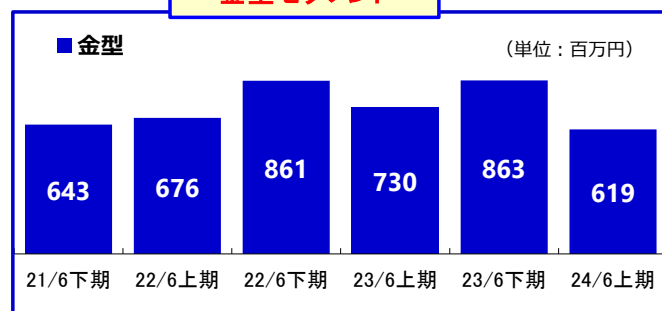
【部品セグメント】

- 電子部品では、半導体関連・産機関連で回復が足踏みし、スマートフォン関連で伸び悩み。
売上高7,459百万円、前年同期比9.8%減少
- 自動車電装部品コネクタは、好調に推移して増収
売上高2,302百万円、前年同期比25.4%増加
- セグメント利益 1,615百万円、前年同期比20.5%減少

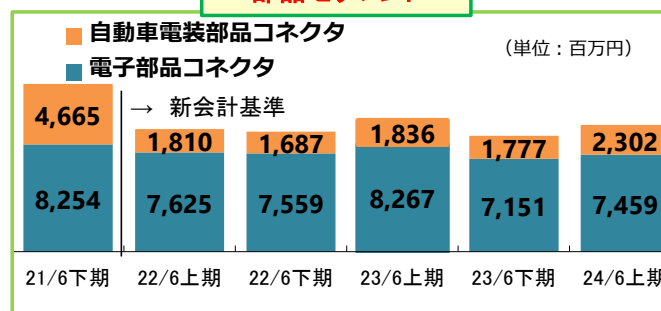
【機械器具セグメント】

- 自動機器は、自動車関連の設備が慎重な動きのため減収
売上高1,478百万円、前年同期比12.3%減少
- 医療組立は、堅調に推移して増収、売上高1,239百万円、前年同期比8.8%増加
- セグメント利益 309百万円、前年同期比27.8%増加

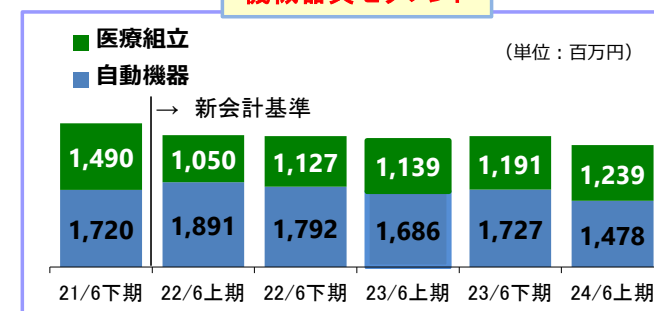
金型セグメント



部品セグメント



機械器具セグメント



連結貸借対照表

(単位：百万円)

	23/6月期 期末	24/6月期 第2四半期末	増減額
流動資産	15,422	17,038	1,615
現金及び預金	4,499	6,245	1,745
受取手形及び売掛金	5,957	5,556	△ 401
たな卸資産	3,787	4,871	1,084
固定資産	19,005	18,824	△ 181
有形固定資産	17,063	17,032	△ 31
無形固定資産	101	102	1
投資その他の資産	1,840	1,689	△ 151
資産合計	34,428	35,862	1,434
流動負債	7,797	9,130	1,333
買掛金+契約負債+前受金	4,289	5,500	1,211
未払金	582	660	77
未払法人税等	551	528	△ 23
固定負債	3,078	2,767	△ 311
長期借入金	1,780	1,480	△ 300
純資産	23,552	23,964	412
負債及び純資産合計	34,428	35,862	1,434

財務体質は健全な水準を維持

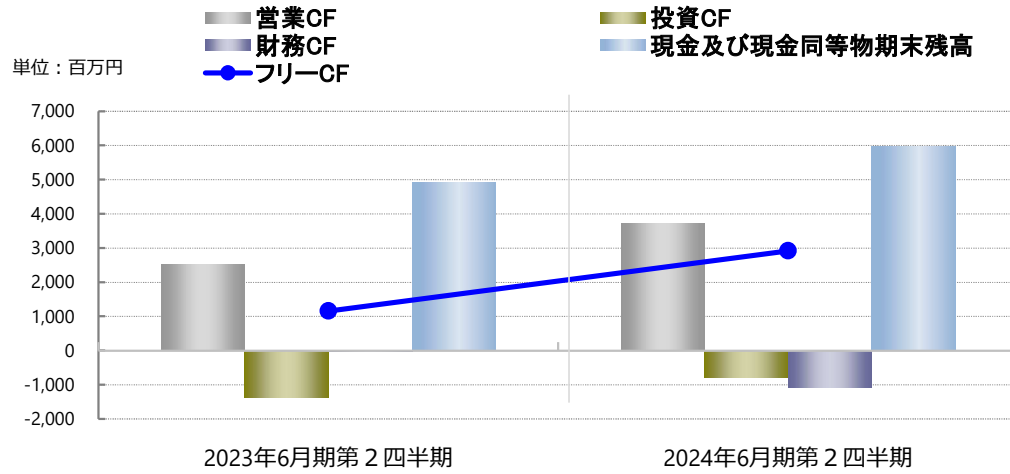
	23/6月期 期末	24/6月期 第2四半期末
短期借入金	1,108	1,091
一年内返済予定長期借入金	636	605

有利子負債	23/6月期 期末	24/6月期 第2四半期末
	3,526	3,176

	23/6月期 期末	24/6月期 第2四半期末
流動比率	197.8%	186.6%
当座比率	134.1%	129.3%
固定比率	82.9%	80.7%
自己資本比率	66.6%	65.1%

連結キャッシュフロー計算書

8



(単位：百万円)

	2023年6月期 第2四半期	2024年6月期 第2四半期
営業活動によるキャッシュフロー	2,537	3,725
投資活動によるキャッシュフロー	△1,378	△805
フリーキャッシュフロー	1,159	2,920
財務活動によるキャッシュフロー	△1	△1,073
現金及び現金同等物に係る換算差額	△103	△101
現金及び現金同等物の増減額	1,054	1,745
現金及び現金同等物の期末残高	4,916	5,957

【営業活動によるキャッシュフローの主な項目】

税引前当期純利益	1,737百万円
減価償却費	994百万円
仕入債務の増減額	1,195百万円
棚卸資産の増減額（増：△）	△250百万円
法人税等の支払額	△533百万円

【投資活動によるキャッシュフローの主な項目】

有形固定資産の取得による支出	△840百万円
----------------	---------

【財務活動によるキャッシュフローの主な項目】

長期借入金の返済による支出	△331百万円
配当金の支払額	△430百万円
短期借入金の純減少額	△105百万円
非支配株主への配当金の支払額	△207百万円

事業状況

モノ作りNo.1を目指して：電子部品コネクタ

事業セグメント

金型

部品

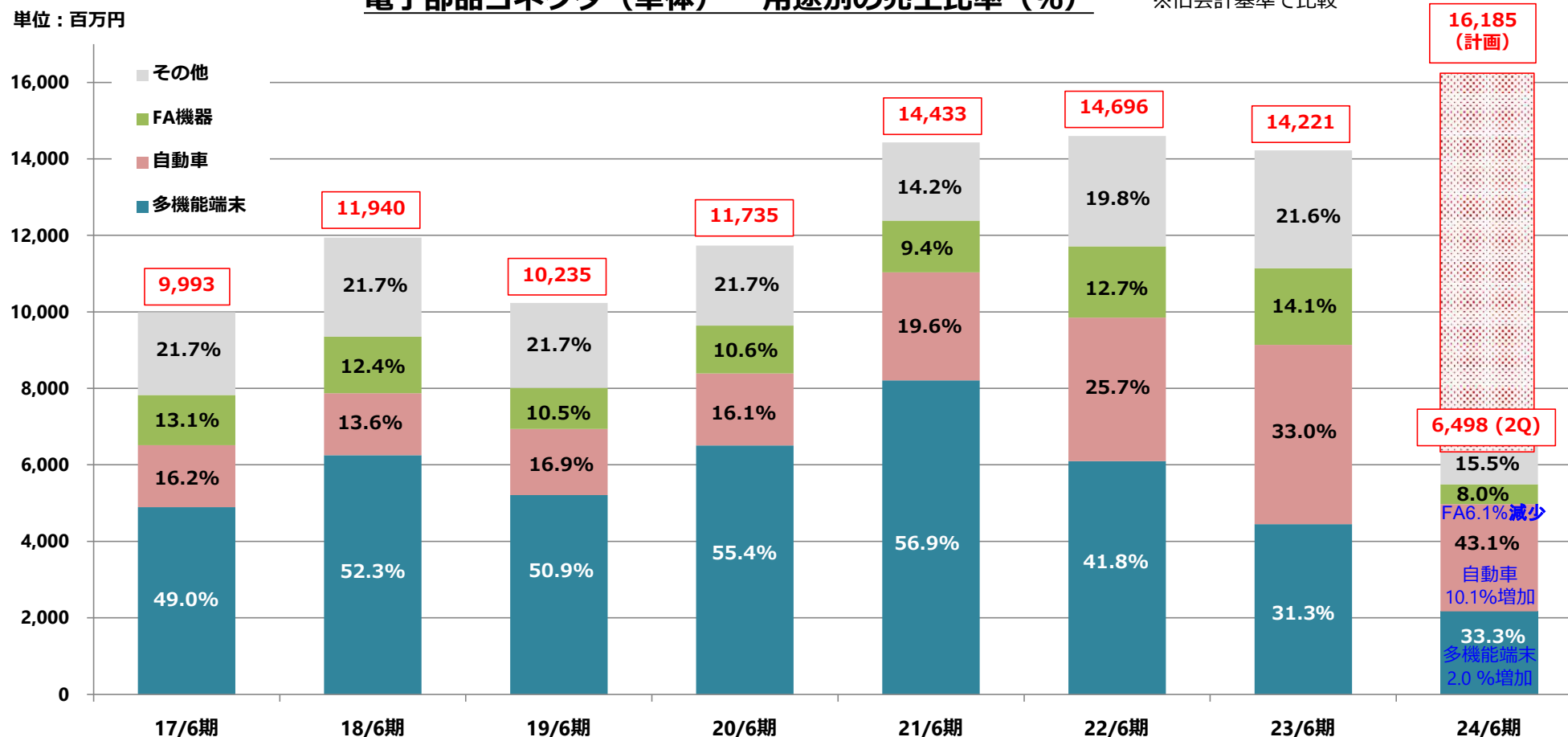
機械
器具

10

独自技術と融合技術の深化

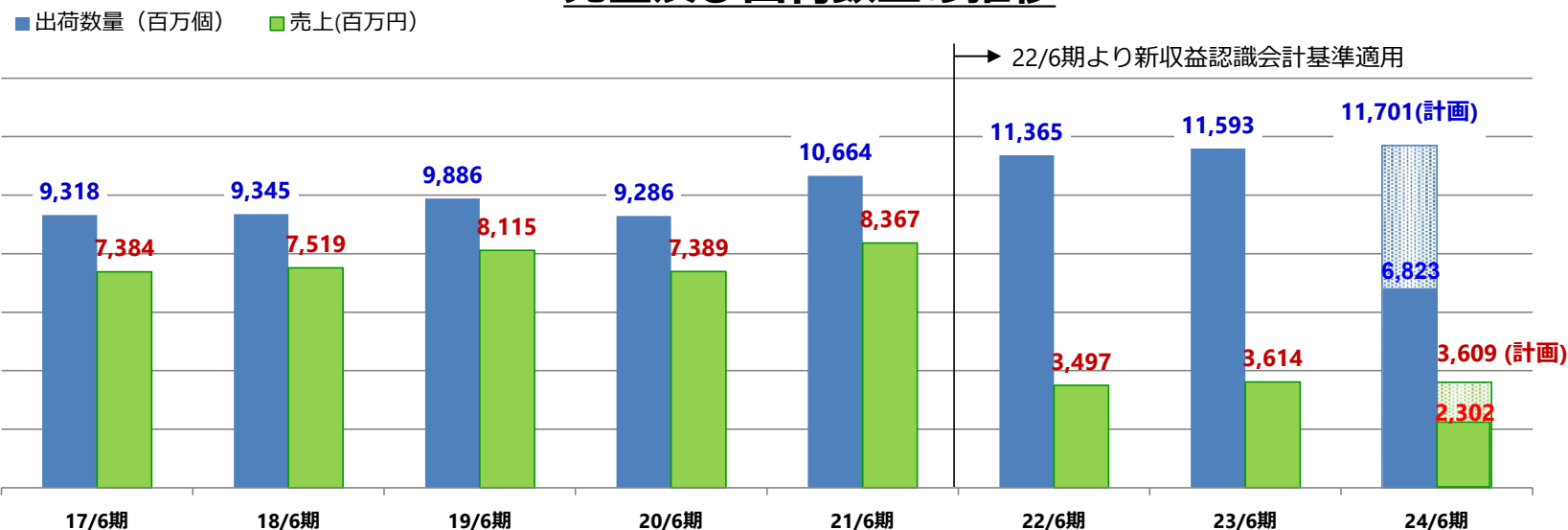
電子部品コネクタ（単体） 用途別の売上比率（%）

※旧会計基準で比較



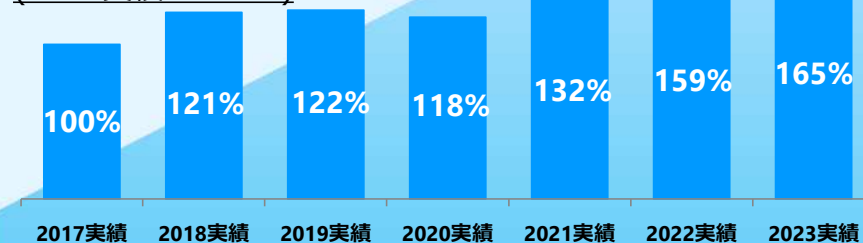
継続的な事業拡大

売上及び出荷数量の推移



顧客のグローバル販売数量推移

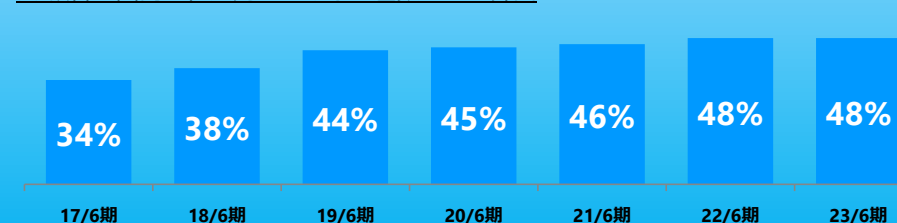
(2017実績を100%)



顧客内シェア推移

金型技術、量産技術を背景に
シェアを維持

※ 顧客の国内の仕入先における生産数量から算出



モノ作りNo.1を目指して：機械器具（自動機器）

事業セグメント

金型

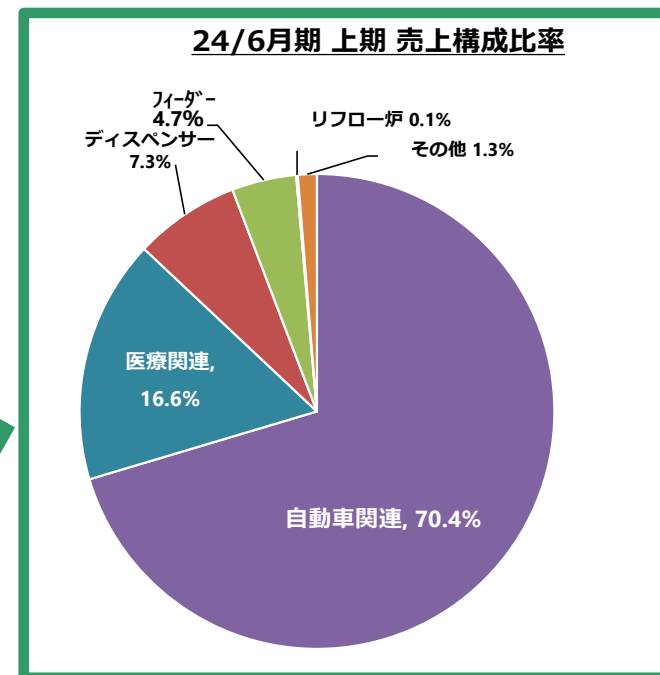
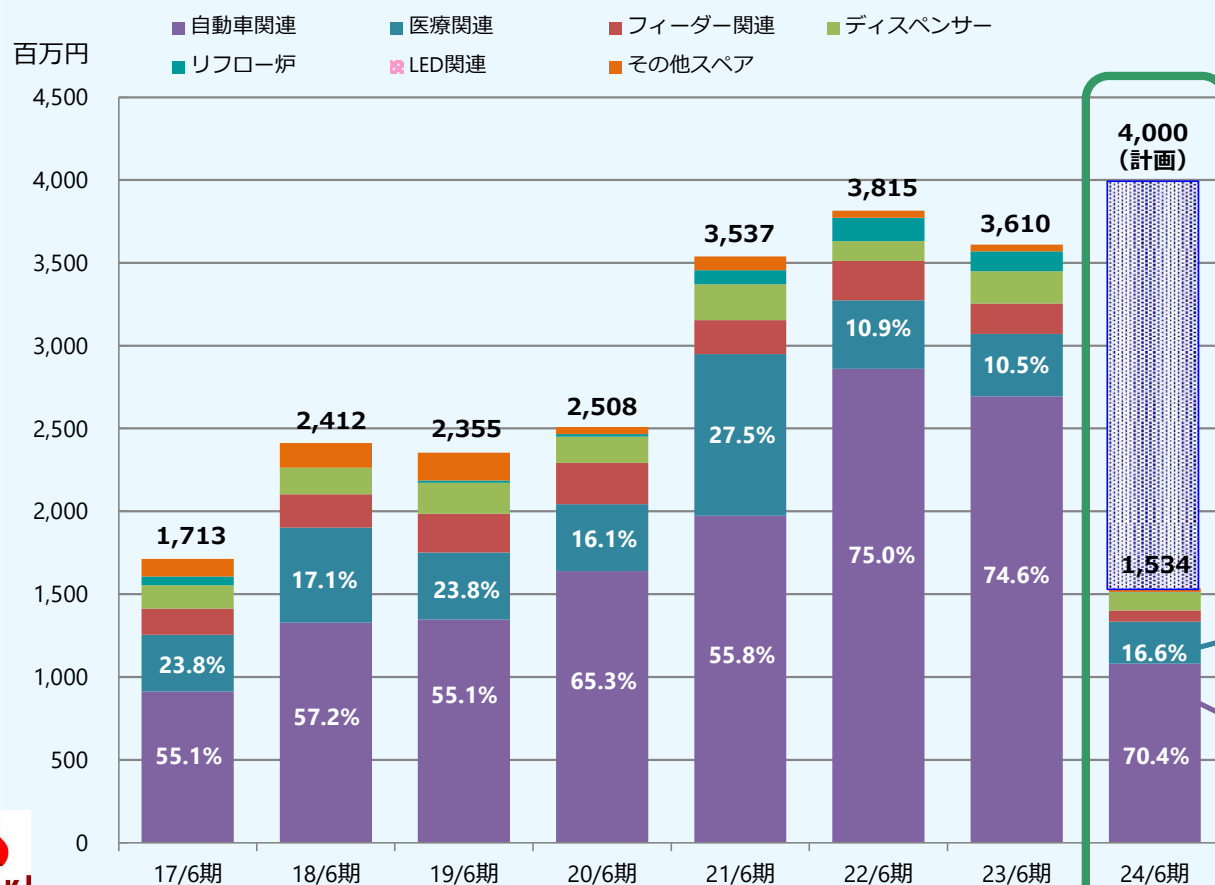
部品

機械器具

12

技術力・提案力を活かし新たな分野にもチャレンジ

売上(社内売買含)推移と構成比率



医療関連
子会社(ISメディカル)向け医療組立用の自動化・省力化装置などを、開発・製造。
前期に子会社増床の量産設備設置が完了し、省力化用装置の開発に注力しています。

自動車関連 (S&S-AT)
自動車ワイヤーハーネス組立装置などを開発・製造しています。

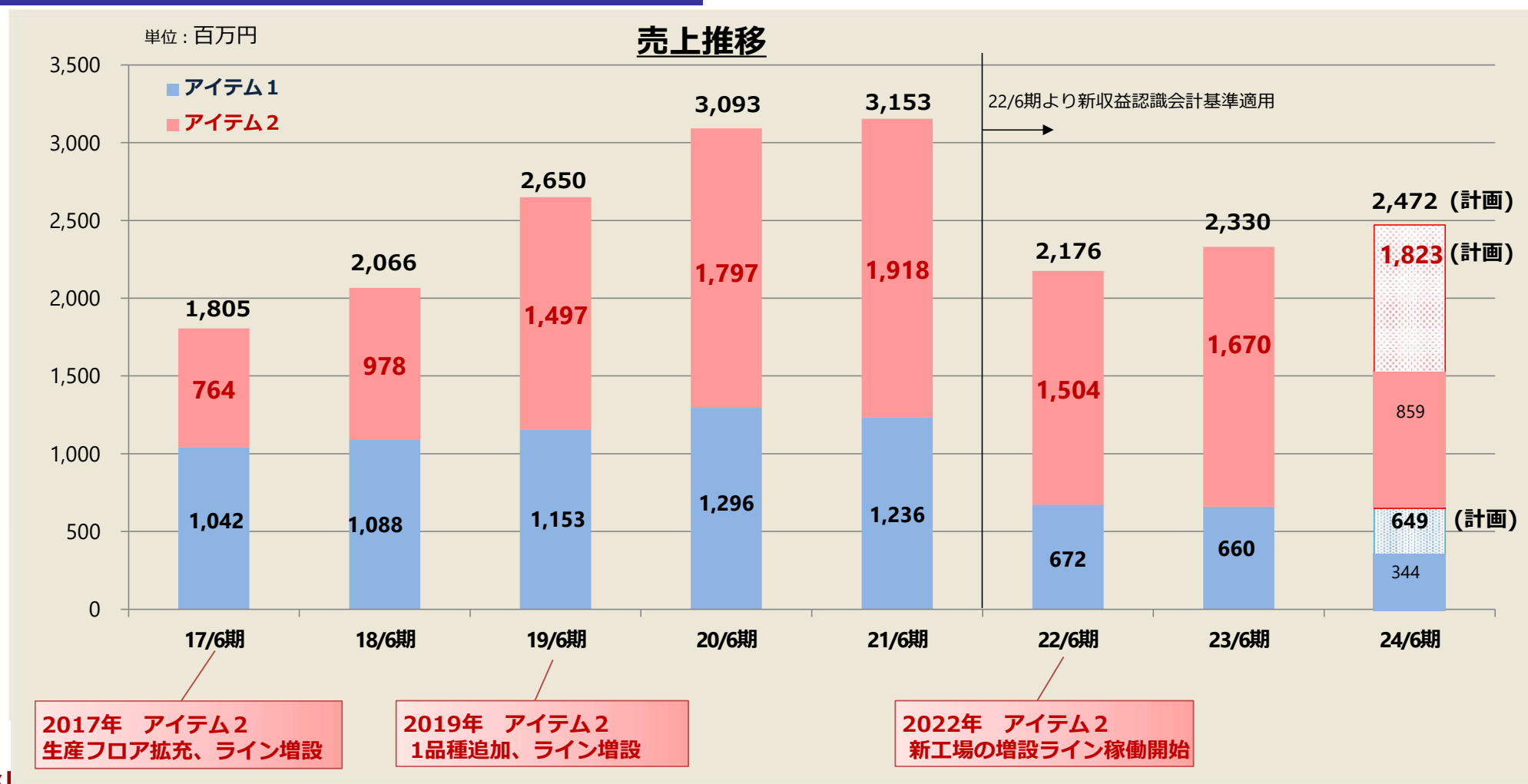
モノ作りNo.1を目指して：機械器具（医療組立）

事業セグメント

金型 部品 機械器具

13

受注拡大により更なる安定事業に発展



当 期 の 見 通 し

通期連結業績見通し

セグメント別売上高 (単位：百万円)

	2023年 6 月期実績		2024年 6 月期予想		増減		
	金額	構成比%	金額	構成比%	金額	金額比%	構成比%
■ 金型	1,592	6.0	1,572	5.3	△20	△1.3	△0.7
■ 部品	19,029	72.1	21,557	72.8	2,528	13.3	0.7
■ 電子部品コネクタ	15,415	58.4	17,949	60.7	2,534	16.4	2.2
■ 自動車電装部品コネクタ	3,614	13.7	3,608	12.2	△6	△0.2	△1.5
■ 機械器具	5,743	21.8	6,455	21.8	712	12.4	0.0
■ 賃貸	11	0.0	7	0.0	△4	△33.9	0.0
合計	26,374	100	29,592	100.0	3,218	12.2	0.0

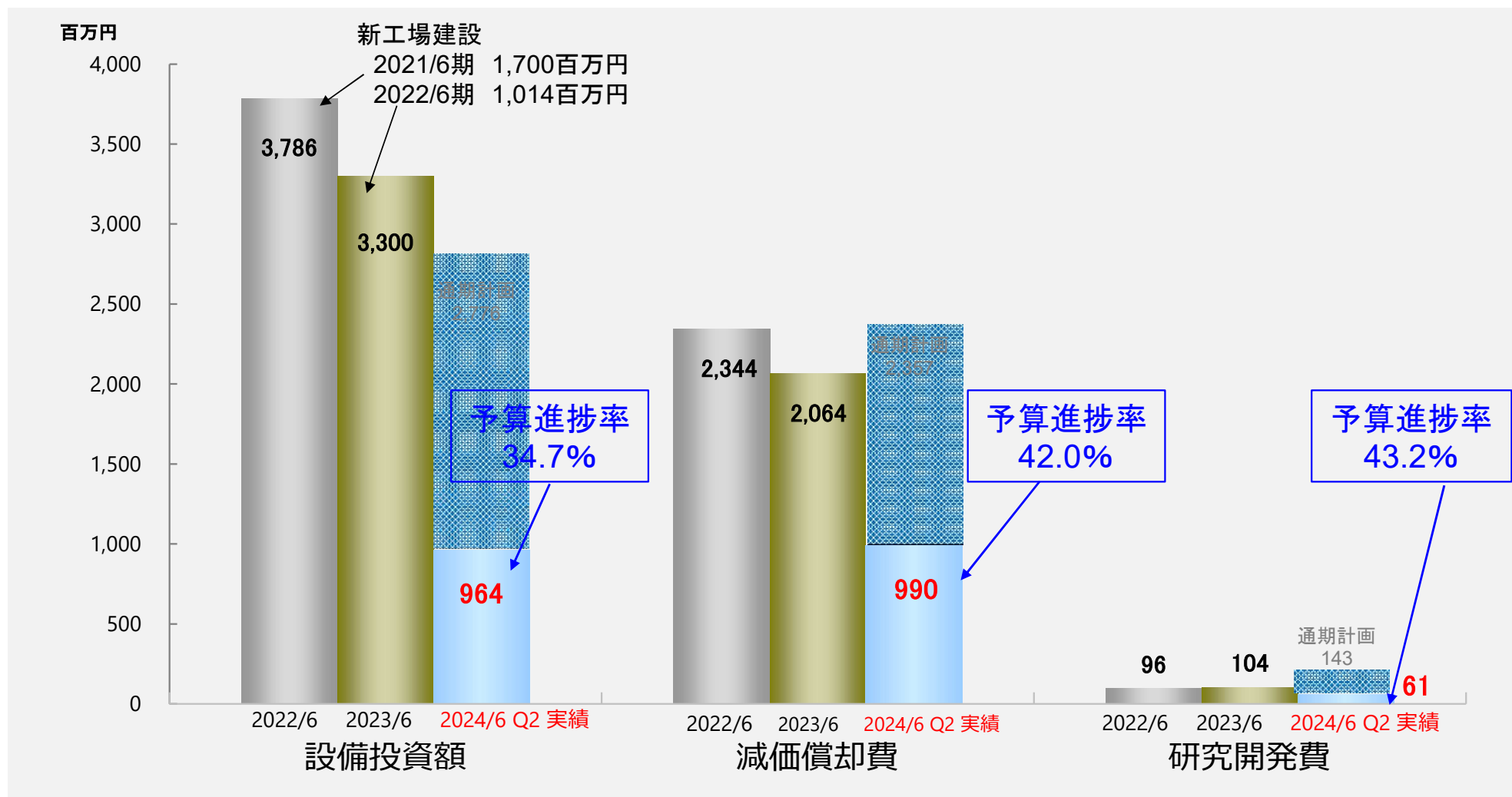
通期業績予想 (単位：百万円)

	2023年 6 月期実績		2024年6月期予想		増減	
	金額	売上比%	金額	売上比%	金額	増減比%
売上高	26,374	-	29,592	-	3,218	12.2
営業利益	3,151	11.9	3,608	12.2	457	14.5
経常利益	3,236	12.3	3,591	12.1	355	11.0
親会社株主に帰属する 当期純利益	1,956	7.4	2,204	7.4	248	12.7



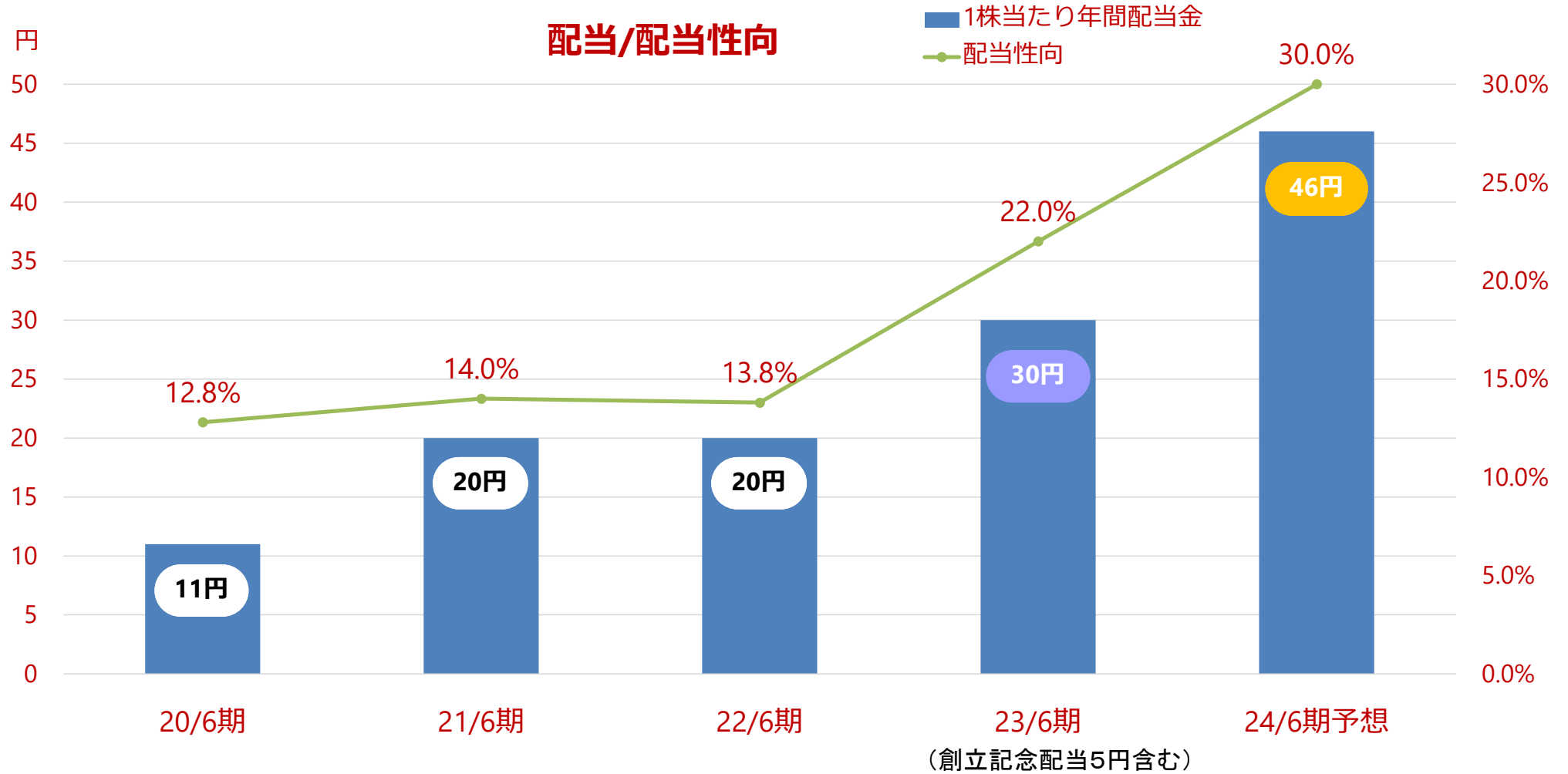
設備投資額・減価償却費・研究開発費

16



配当・配当性向（予想）

17



中 期 経 営 計 画

当社が注力する新領域成長事業

■ **当社独自の製造プロセスにより新領域へ事業拡大**

医療組立の収益力向上

- ・増産計画に沿った生産キャパ拡大
- ・自社製の省人化装置の導入

自動車関連装置の拡大

- ・次世代ハーネス組立装置の開発・製造

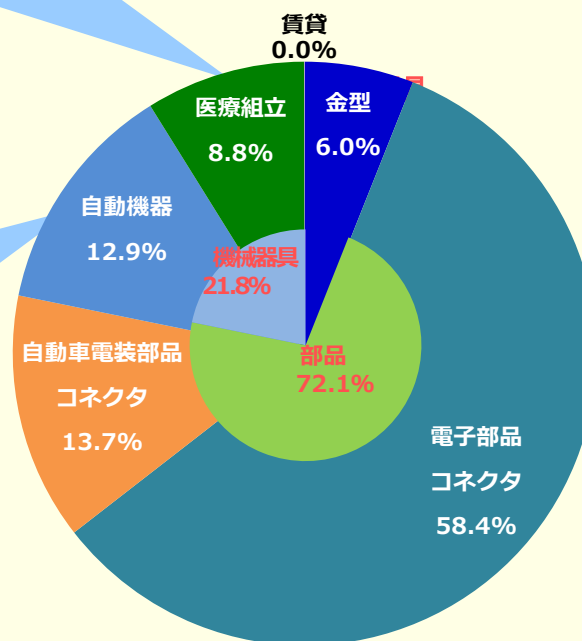
新規取引先の創出

- ・食品、医療、アグリ等へアプローチ

車載部品ビジネスの拡大

- ・電池部品
- ・安全性能部品
- ・快適性能部品

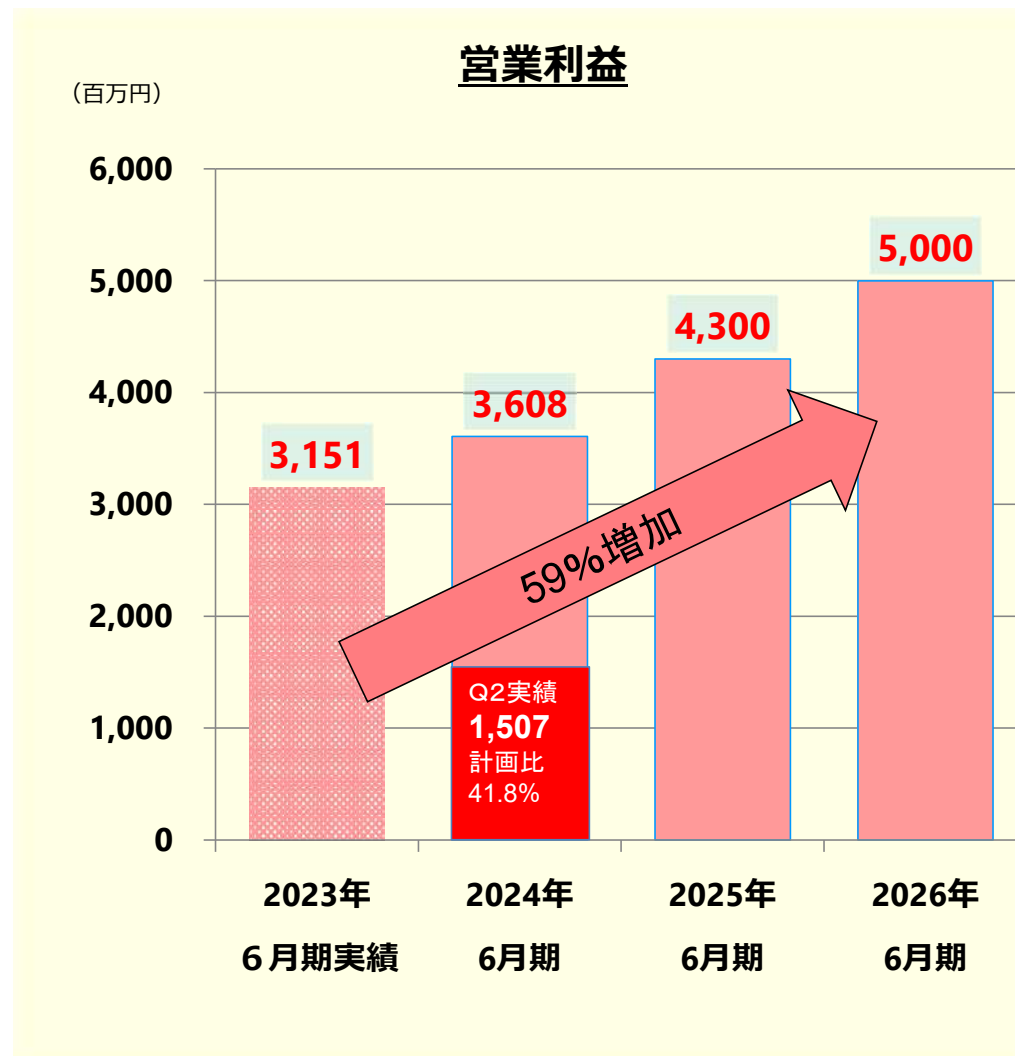
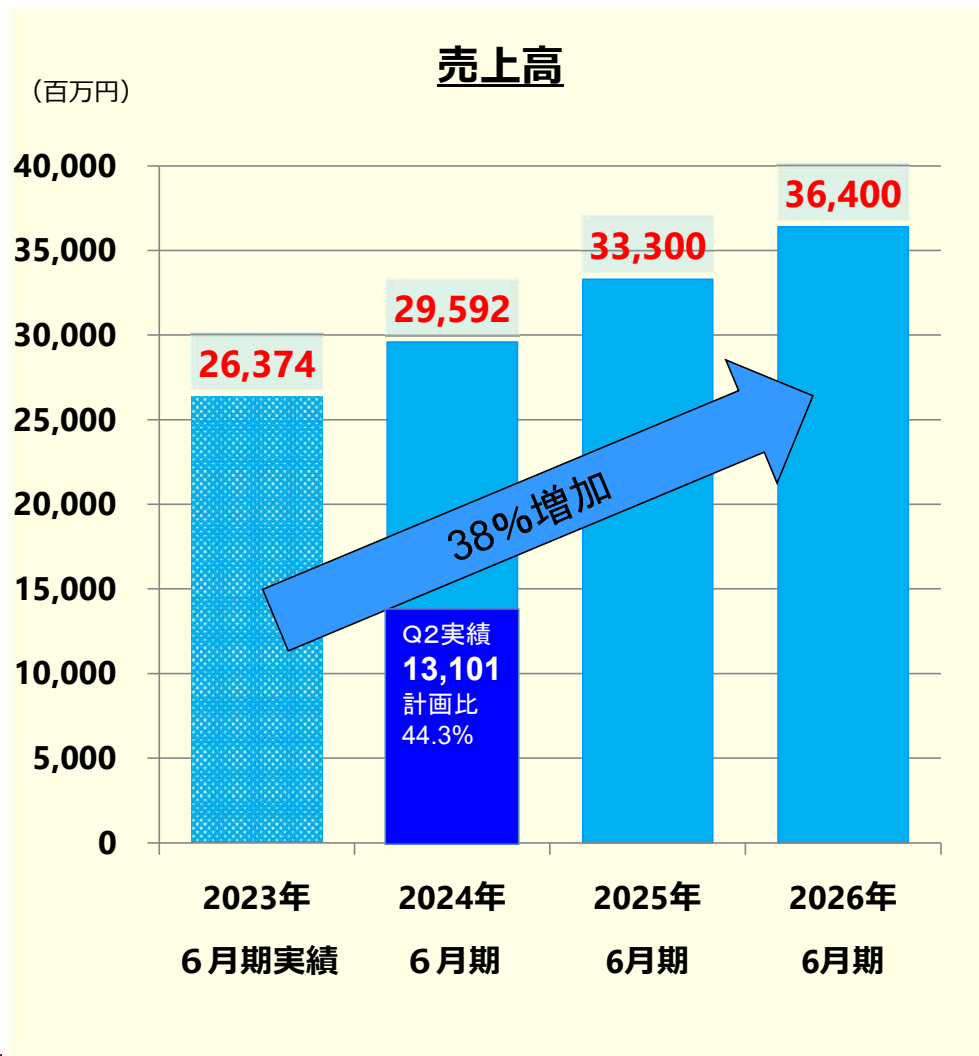
金型～プレス～めっき～成形
～自動検査・梱包の
総合技術で優位性を保つ



※売上構成比（2023年6月期実績）

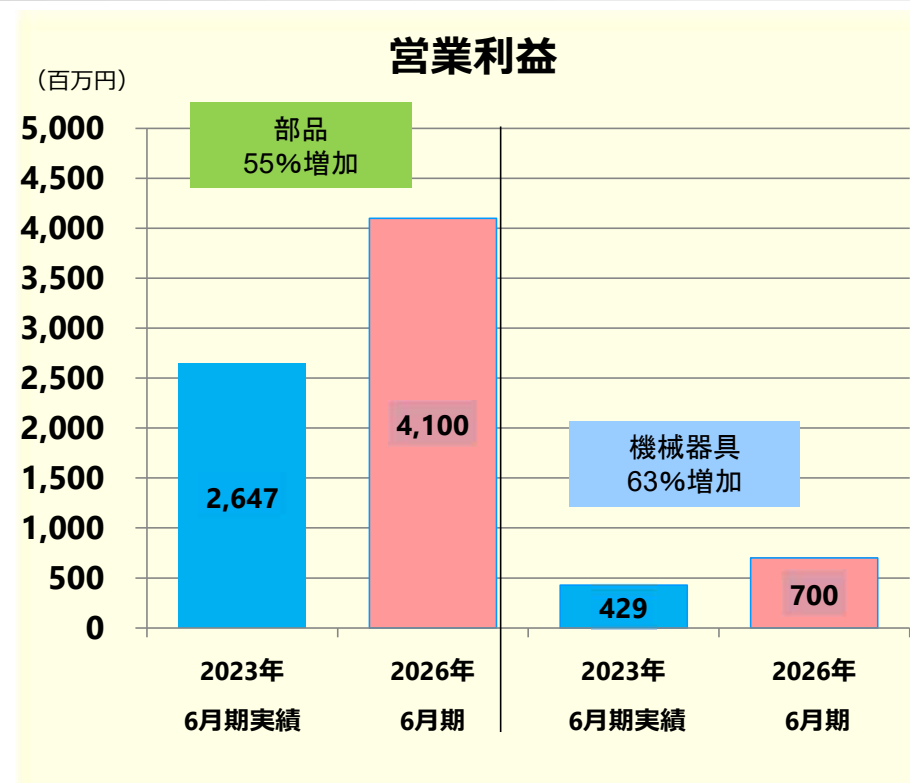
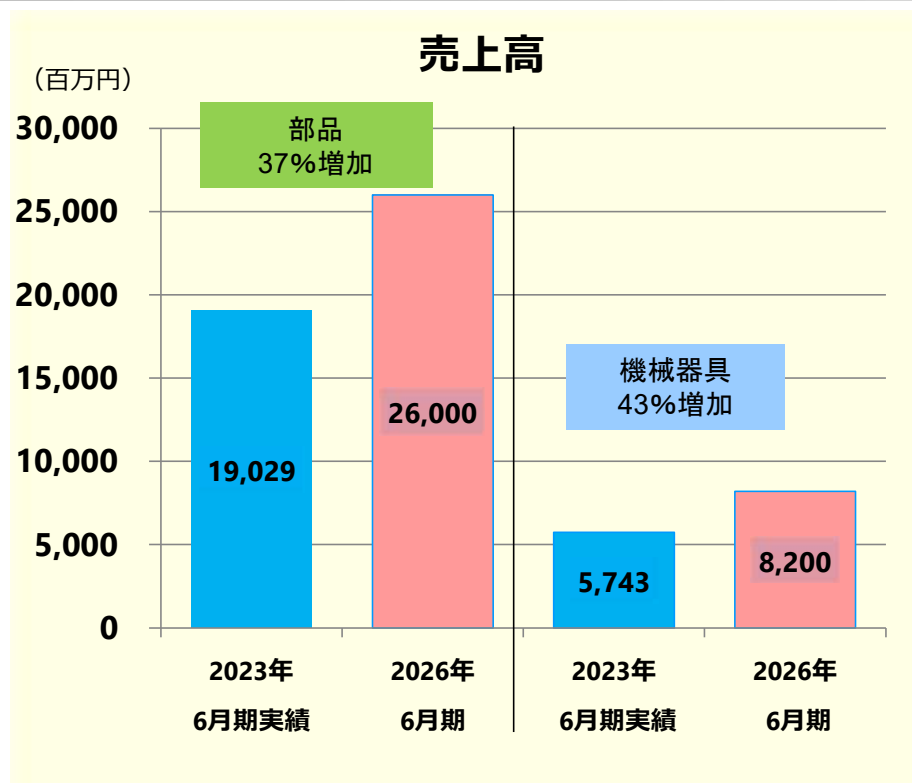
中期経営目標（売上高、営業利益）

20



主力セグメントの計画（部品セグメント、機械器具セグメント）

21



主要な部品セグメントと機械器具セグメントを三ヶ年で拡大

・部品セグメント取組み

- ①スマートフォン向け部品など既存製品のシェア拡大 ②自動車部品事業（電池部品など）への継続的投資と利益率向上

・機械器具セグメント取組み

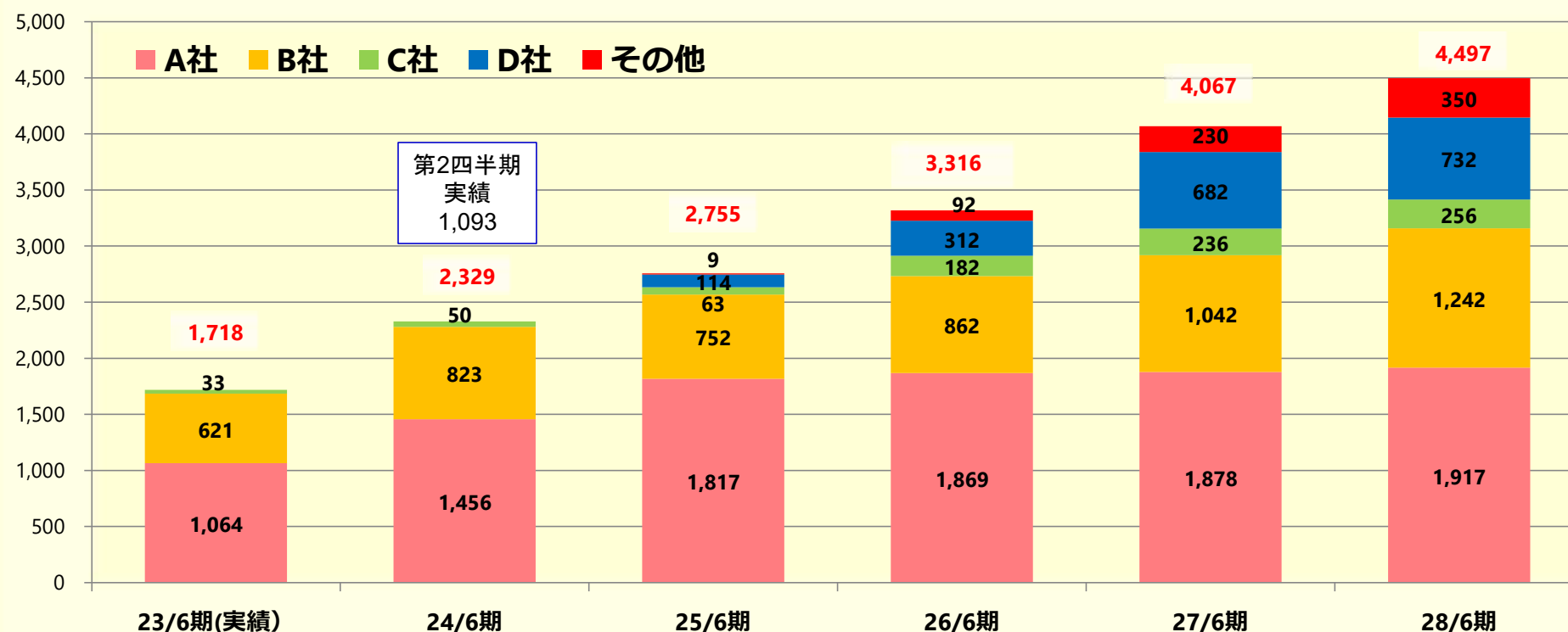
- ①新工場での自動車ワイヤーハーネス製造装置の生産能力を拡大 ②新領域への参入（食品・医療・アグリ等）

★ Tier1（ティアワン）向け車載部品ビジネス（二次電池向け部品事業を含む）

- ・ A社のトヨタ車向けリチウムイオン電池部品（ヤリス等に搭載）と B社向け車載センサー部品は堅調に推移
- ・ D社向けのリチウムイオン電池部品を2025年より生産開始予定

単位：百万円

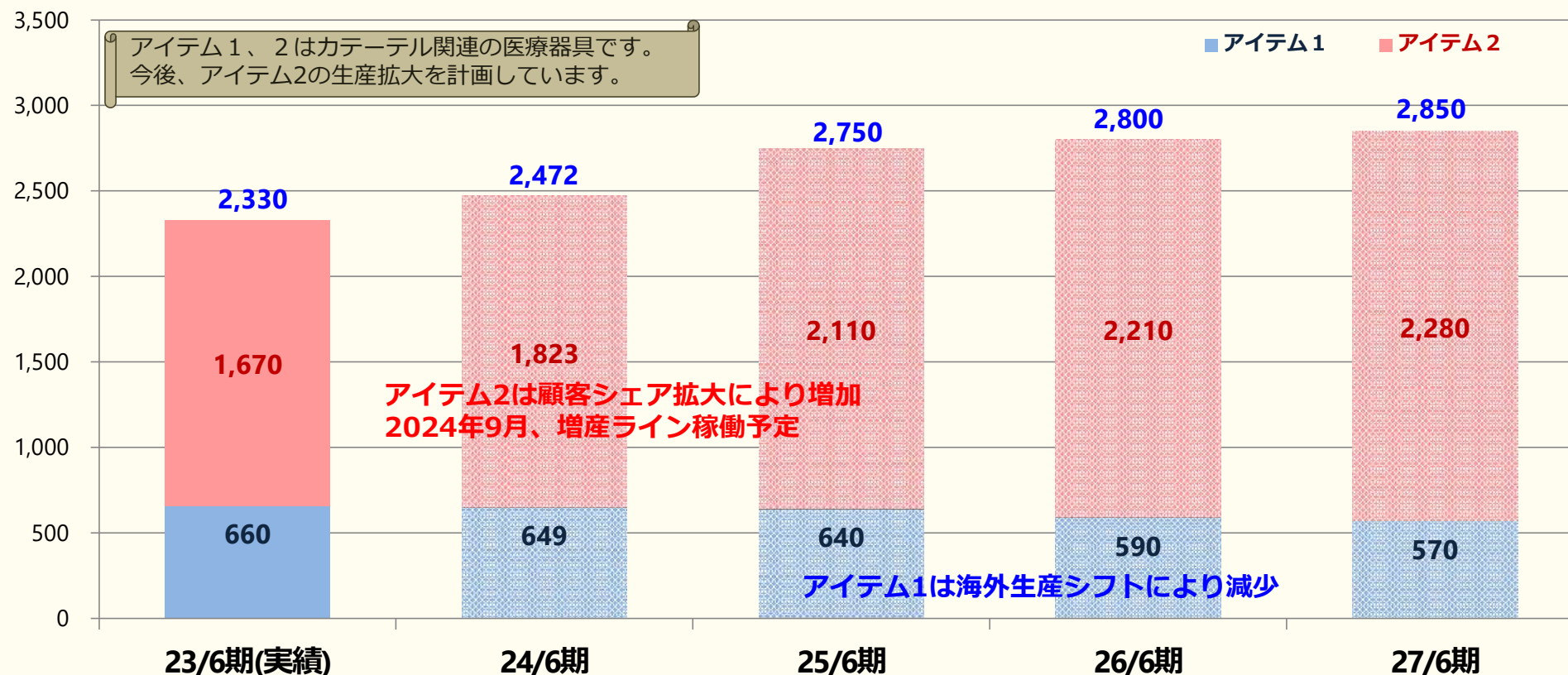
売上計画（現時点での生産アイテムおよび受注予定アイテム、設備回収費は除く）



★医療組立の今後の展望について

単位：百万円

売上計画



アイテム2は、自社製の自動化設備を開発・導入し、収益拡大を目指します。

成長分野③ 有力となる事業の拡大

事業セグメント

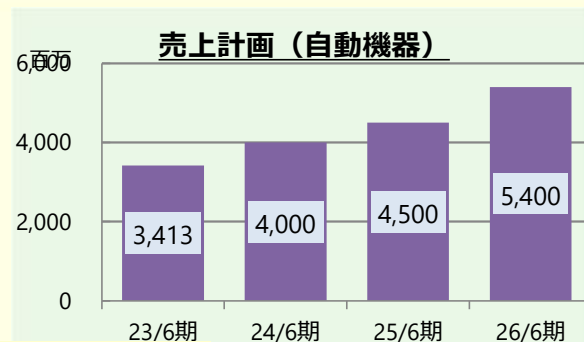
金型

部品

機械
器具

24

自動機器事業は自動車関連装置が拡大



主な生産装置



客先最終製品
イメージ



この他に、基板実装ディスペンサー、リフロー炉、各種専用機を製造

新たな業界への参入に向けた活動

当社の強みと技術力を他の分野へ展開

ビジネスマッチングを活用し、食品・医療・アグリ等へ当社技術をPRし新規顧客の獲得に向けた活動を開始

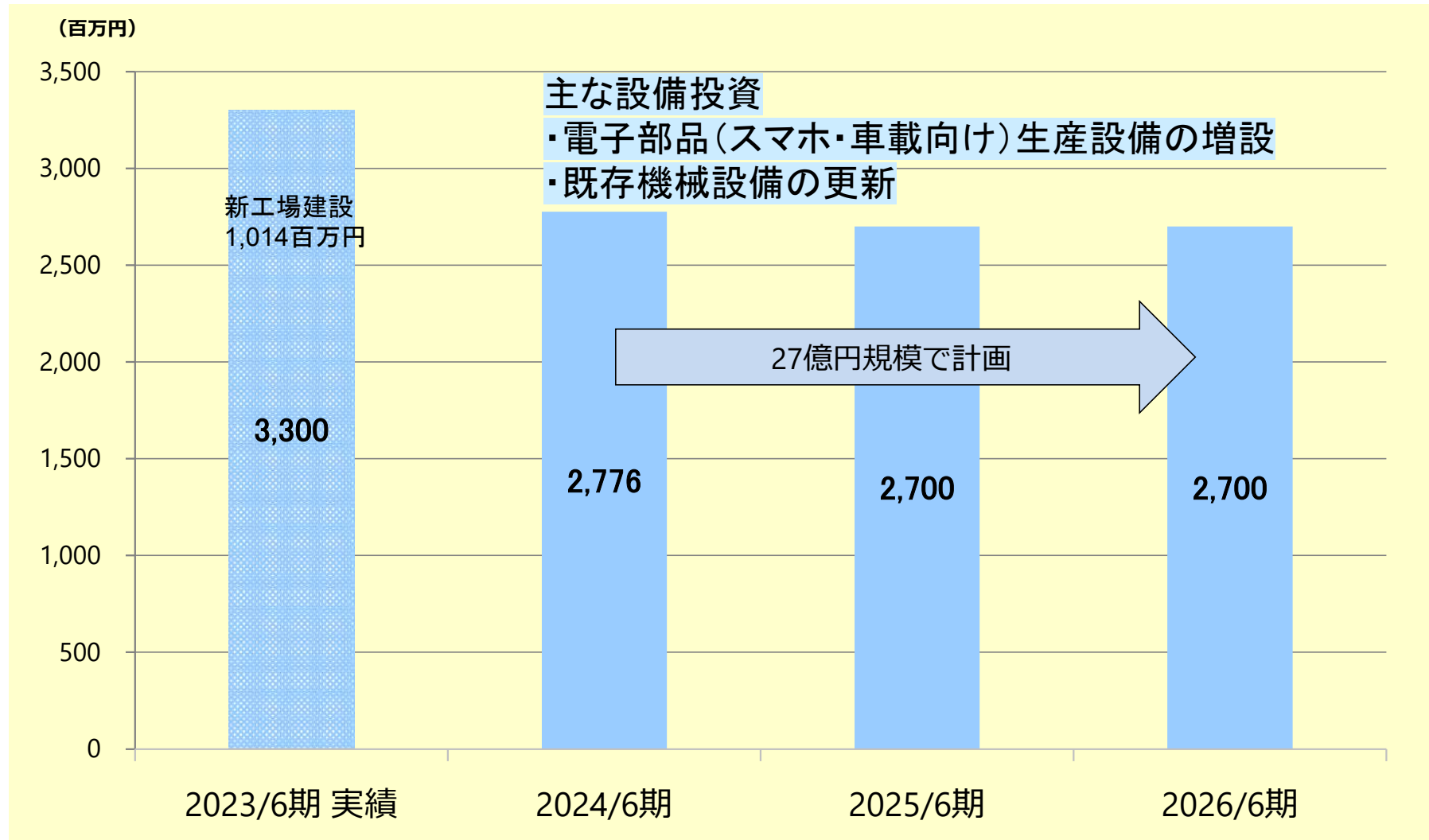
新規参入
市場展開



成長・拡大
新規投資

市場開拓
製品開発





Being an “Only-One Company”

本資料は、2024年6月期第2四半期の業績に関する情報の提供と、当社に対するご理解をより深めて頂くことを目的としたものであり、当社が発行する有価証券の投資を勧誘することを目的としたものではありません。また、本資料は2023年12月末時点のデータに基づいて作成されております。本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断であり、その情報の正確性、完全性を保証し又は約束するものではなく、また今後予告なしに変更されることがあります。

お問い合わせ

ir2006@suzukinet.co.jp



代表取締役社長 鈴木 教義
取締役管理本部長 小川 清久

参 考 資 料

経営理念

商号

創立

本社

上場

代表者

事業内容

資本金

発行済株式数

関連会社
(連結子会社)

従業員

「不への挑戦」 微細金型技術の徹底的な精度追求 = 不可能への挑戦

株式会社鈴木

英語名：SUZUKI CO., LTD.

1933年6月10日

長野県須坂市大字小河原2150-1

2001年2月16日 JASDAQ

2014年7月31日 東京証券取引所市場第一部

2022年4月4日 同プライム市場へ移行 証券コード：6785

代表取締役社長 鈴木 教義

電子部品コネクタ、電子部品搭載装置、半導体関連装置、各種専用機、
精密プレス金型・モールド金型 および医療関連器具の製造・販売

24億4,245万円

14,404,400株（100株単位）

〔国内〕 S&Sコンポーネンツ株式会社（持株比率：51.0%）

S&Sアドバンステクノロジー株式会社（持株比率：51.0%）

エスメディカル株式会社（持株比率：100.0%）

〔国外〕 中国：鈴木東新電子（中山）有限公司（持株比率：80.0%）

鈴木東新電子（香港）有限公司（持株比率：80.0%）

インドネシア：PT. SUGINDO INTERNATIONAL（持株比率：99.99%）

（2022年8月にPT.GLOBAL TEKNINDO BERKATAMAを吸収合併）

【連結】 1,068名 【単体】 487名

※ 2023年12月末現在

株主の状況

(2023年12月末現在)

29

●大株主情報

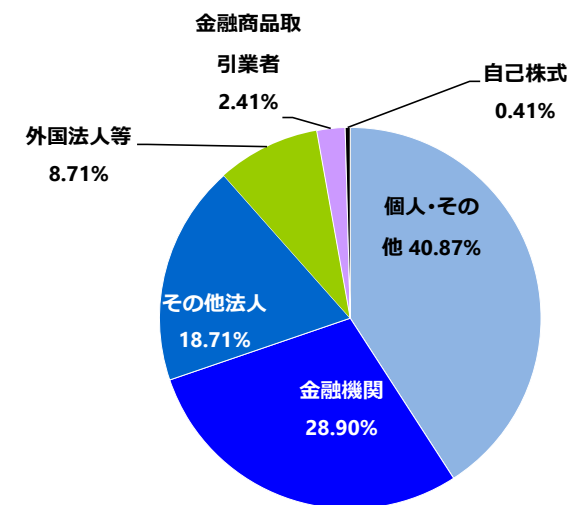
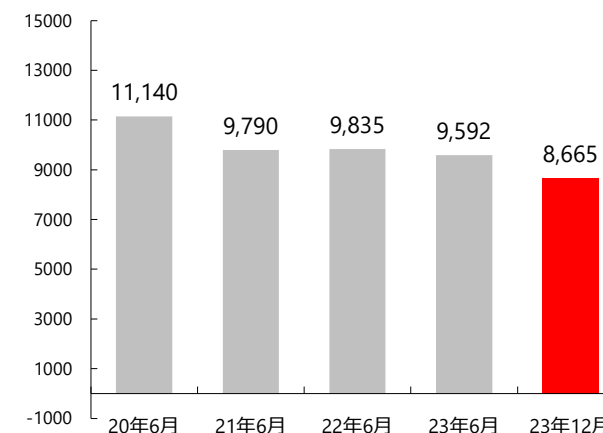
株主名	持株数 (株)	持株比率 (%)
株式会社クリンゲル	2,272,600	15.84
日本マスタートラスト信託銀行株式会社 (信託口)	1,867,200	13.02
株式会社日本カストディ銀行 (信託口)	1,648,700	11.49
鈴木従業員持株会	560,104	3.90
鈴木 教義	375,640	2.62
株式会社八十二銀行	310,000	2.16
高野 忠和	196,600	1.37
DFA INTL SMALL CAP VALUE PORTFOLIO	195,923	1.37
小島 まゆみ	160,000	1.12
株式会社商工組合中央金庫	160,000	1.12
鈴木 照子	160,000	1.12

※持株比率は、自己株式(58,643株)を控除して計算しております。

●所有者別株式分布状況

	株主数 (名)	株式数 (株)	株式数分布比率 (%)
個人・その他	8,462	5,887,289	40.87
金融機関	14	4,162,700	28.90
その他法人	70	2,694,505	18.71
外国法人等	91	1,254,175	8.71
金融商品取引業者	27	347,088	2.41
自己株式	1	58,643	0.41

●株主数の推移



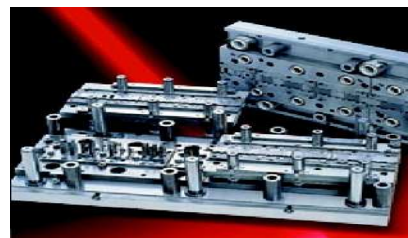
事業内容～微細金型技術を核とした精密プレス部品製造を主力とするメーカー

30

金型： ～長年の研鑽による匠の技：当社のコア技術～

業界最高レベルの
精密金型の設計・製造

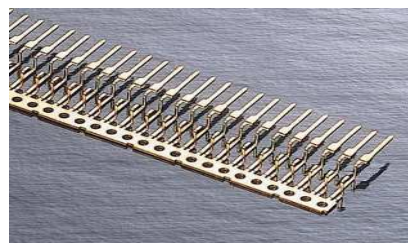
売上構成比：4.7 %



部品： ～金型を用いた精密部品の量産加工～

電子部品や自動車
電装部品の量産加工

売上構成比：74.5 %



機械器具： ～金型・部品事業で培った技術ノウハウの応用～

実装機や省力化機器の
設計開発
医療関連器具の組立

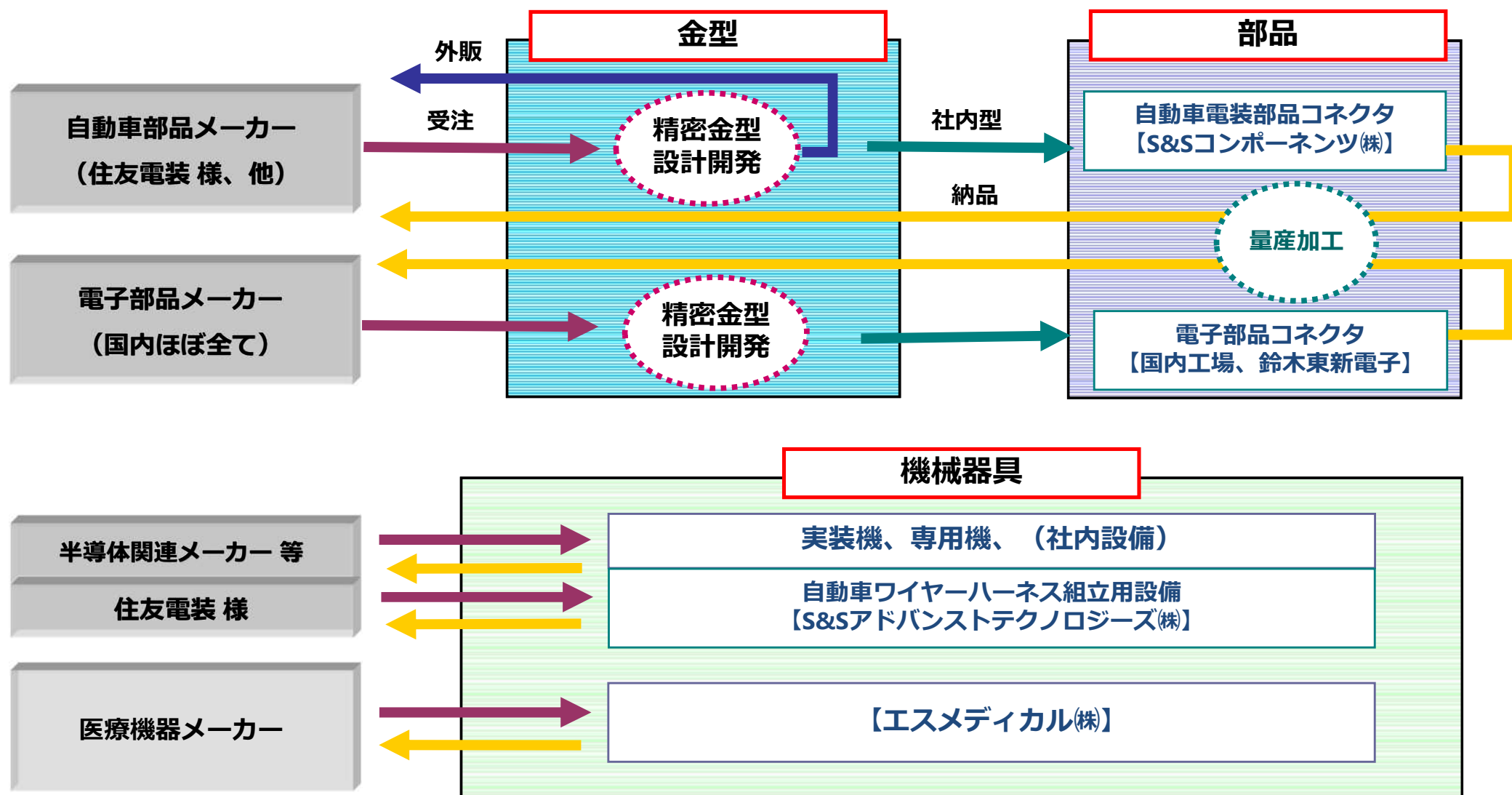
売上構成比：20.7%



※ 売上構成比：2023年12月末現在

事業内容 ～事業系統図～

31

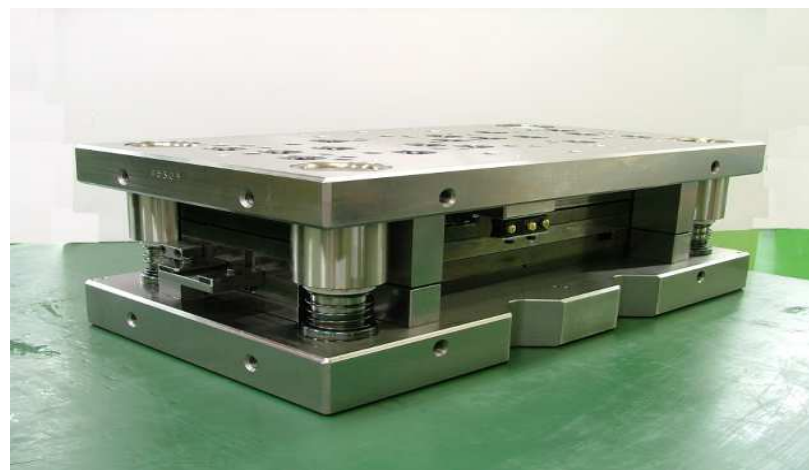
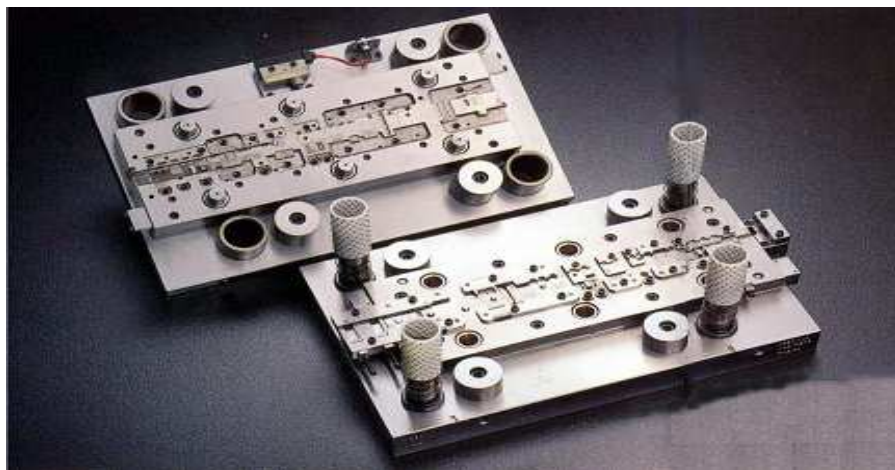


当社のコア技術である「金型」と「プレス量産加工の工程」

32

「金型」

精密コネクタ金型の外観（上下別、全体）



「プレス加工」

一般的な圧着端子の加工レイアウト



1ピッチずつ順送りして、抜き・曲げ等のプレス加工を行う